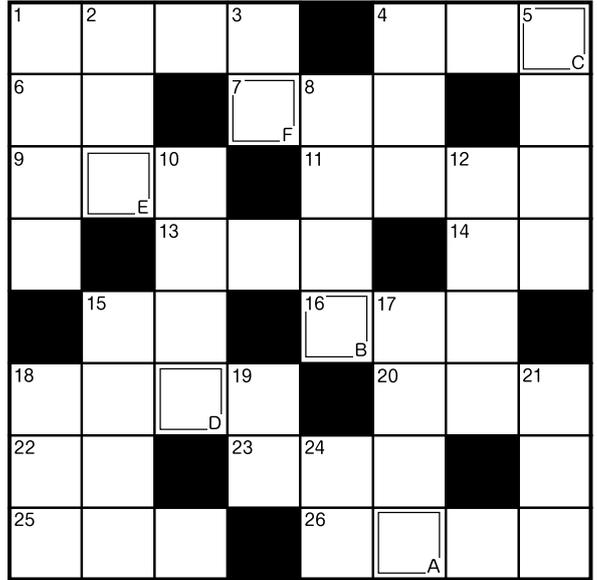


(2024年6月)

ヨコのヒント

- 今年の夏に行われるオリンピックとパラリンピック。さて、その開催国は？
- 関税をゼロにするか、なるべく低くして、量の制限などもなくして行う貿易を〇〇〇貿易といいます。
- 「青は〇〇より出でて〇〇より青し」。弟子や教え子が、先生よりも立派になることのたとえです。
- 過剰、□□満々、□□喪失。□□に共通して入る漢字の読みは？
- ペルー南部のクスコを中心に、15～16世紀に繁栄した〇〇〇帝国。マチュピチュの遺跡で知られます。
- 必要分を除いた残り。「〇〇〇〇人員」「〇〇〇〇米」などと使います。
- 鎌倉時代から室町時代にかけて、朝鮮半島や中国沿岸を襲った海賊の呼び名。
- 胸の両側の、腕の付け根の下の部分。注意や考えが足りず、自分を守ることができないと、ここが「甘い」と言われます。
- 隋を滅ぼした李淵が中国を統一して建てた王朝。
- 自分の側に都合が良いこと。「先取点をあげて、試合を〇〇〇に進める」などと使います。
- すっかり取り除くこと。「冬物〇〇〇〇パーゲン」などと使います。
- 悪い評判。「〇〇〇を挽回する」は間違いで、挽回するのは「名誉」。〇〇〇は「返上」してください。
- 屋根の端の、壁より外に張り出した部分。〇〇先、〇〇並み、〇〇を連ねる、などと使います。
- 同舟。「仲の悪い者どうしが、同じ目的のために協力する」という意味の四字熟語です。
- ほとんどの火成岩に含まれる〇〇〇石。白色または薄い桃色で、柱状、または短冊状の形をしています。
- 目的地に行く途中でほかのことに時間を費やした。何を食った？



【答え】

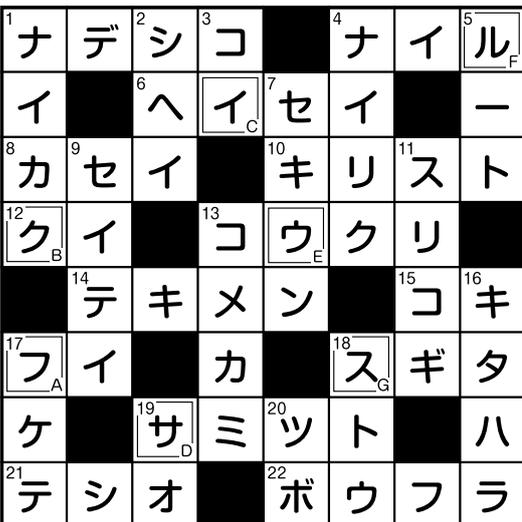
A	B	C	D	E	F

- 24 21 19 18 17 15 12 10 8 5 4 3 2 1
- 「タテのヒント」
- 1 英語で「戦おうとする気力」。受験生の皆さん、〇〇〇〇！
- 2 スイス南部のアルプス山脈からドイツ西部 オランダを貫流して北海に注ぐ〇〇〇川。ヨーロッパ水上交通の大動脈です。
- 3 □書き、□道、□金入り。□に共通して入る漢字の読みは？
- 4 「〇〇〇を尽くして、天命を待つ」。受験でもこうありたいものです。
- 5 うれしくて心が落ち着かない様子を表す擬態語。
- 8 小麦・大豆を原料とする日本古来の液体調味料。千葉県の野田市と銚子市が産地として有名です。
- 10 指の間に水かきがあり、泳ぎが上手なイタチ科の哺乳類。日本に生息していた「ホン〇〇〇〇」は絶滅しました。
- 12 ただでさえ困っているのに、それとは別の悪いことが重なって起こることを「〇〇〇〇〇〇」や「〇〇〇〇」や「〇〇〇〇」のことばです。
- 15 「東京〇〇〇〇許可局」。早口ことばです。
- 17 英語で、置時計や掛け時計は「クロック」。では、腕時計は？
- 18 「思ひわび」なども〇〇〇〇はあるものを憂き目にたへぬは涙なりけり(道因法師)
- 19 同じような物が次々と現れることのたとえ。「〇〇〇〇の〇〇」や「〇〇〇〇」。
- 21 「やせ蛙 負けるな〇〇〇〇これにあり」(小林〇〇〇)
- 24 にっこり笑う。さて、「浮かべる」のは？

前月号の解答と解説

【答え】

A	B	C	D	E	F	G
フ	ク	イ	サ	ウ	ル	ス



★フクイサウルス

東京から群馬、長野、北陸4県(新潟・富山・石川・福井)を経由して、京都、大阪までを結ぶ予定の北陸新幹線。これまで石川県の金沢まで開業していましたが、今年3月16日、福井県の敦賀まで延伸・開業しました。これにより、東京から敦賀まで、乗り換えなしで最短3時間8分、福井までは最短2時間51分で行けるようになりました。福井県では、今回の延伸で、首都圏からもたくさん観光客が訪れるのではないかと期待しています。

その福井県の観光の目玉の一つが、フクイサウルスなど白亜紀前期(約1億4500万年前から約1億年前)に日本に生息していた恐竜です。これまでに日本で発見された恐竜化石の約8割が福井県で発見されていることから、県では恐竜を「福井のダントツブランド」と位置付けています。福井駅西口の恐竜広場には、県内で発見された「フクイ」の名前を冠するフクイサウルス、フクイティタン、フクイラプトルの3頭、そして、新幹線の開業に合わせて制作されたティラノサウルスとともに、すべて実物大で学術的にも精巧に作られた動く恐竜ロボットが設置されています。また、駅舎壁面には、県内で化石や足跡が発見された恐竜などのイラストが描かれ、夜間にはライトアップも行われます。

さて、これまでに日本では全国1道18県で発見されている恐竜化石ですが、どうして福井県でたくさん見つかるのでしょうか。それは、ほかの地域よりたくさん恐竜が生息していたというより、恐竜が生きていた時代にできた地層(手取層群)が周辺にあり、その一部が県北東部の勝山市の川沿いの崖に露出し、化石が発掘・採集しやすい場所だったこと、そして、2000年に開館した福井県立恐竜博物館を中心に、県を挙げて徹底的に調査・分析を行ったことが大きいようです。来年4月には、日本で初めての恐竜学部(仮称)が福井県立大学に設置される予定です。設置されれば、福井県が世界の恐竜研究の一大拠点になるかもしれませんね。

ヨコ

- なでしこ
- ナイル
- 平静(へいせい)
- 火星(かせい)
- キリスト
- 梅い(くい)
- 高句麗(こうくり)
- ときめん
- 古希(こき)
- 不意(ふい)
- 杉田(すぎた)
- サミット
- 手塩(てしお)
- ぼうふら

タテ

- 内閣(ないかく)
- 紙幣(しへい)
- 鯉(こい)
- 内陸(ないりく)
- ルート
- 積雲(せきうん)
- 制定(せいてい)
- すりごぎ
- こめかみ
- 北原(きたはら)
- ふけて
- ストウ
- 棹(さお)
- つぼ